

Show Window

森研究室 172010 加賀美 舞

制作背景

私がショーウィンドウを卒業制作にしたきっかけは、3年次の前期(4月～7月下旬)にかけて行われるインテリア系のゼミⅠ課題にある。この課題を通してショーウィンドウには、メッセージ性のある展示をすることで人々に想いを訴えかけることができ、見てくれた方の背中を押すきっかけにもなれることが分かった。
ゼミⅠでの制作で学んだことを生かし、卒業制作ではショーウィンドウを通して、人々の生活の意識改革を目指す。

ゼミⅠ課題：2019.07

Season _ 夏

Theme _ 夢を描こう！

Target _ 進路の分岐点に立つ若者、子供たち

Concept _ あなたの夢はなんですか...？私たちはまだ真っ白なキャンパス。夢さえあればどんな色だって描ける。時には夢に燃え、時には悩みつまずくこともあるかもしれない。それでも諦めきれない気持ち、重ねてきた努力、それぞれ自分が夢に向き合った時間を自分の色で描いて欲しい。
きっとそれはあなたを彩る虹になるから！



ながおか市民センター・ショーウィンドウ計画

夏、秋、冬と1年を通して3回のショーウィンドウを提案する。

3回の共通テーマと、より伝えたい小テーマを決め、モチーフや色で季節感のあるディスプレイを制作。
来館する市民から親しまれアピール度の高いデザインを考え、冬のディスプレイは実際に制作する。

場所

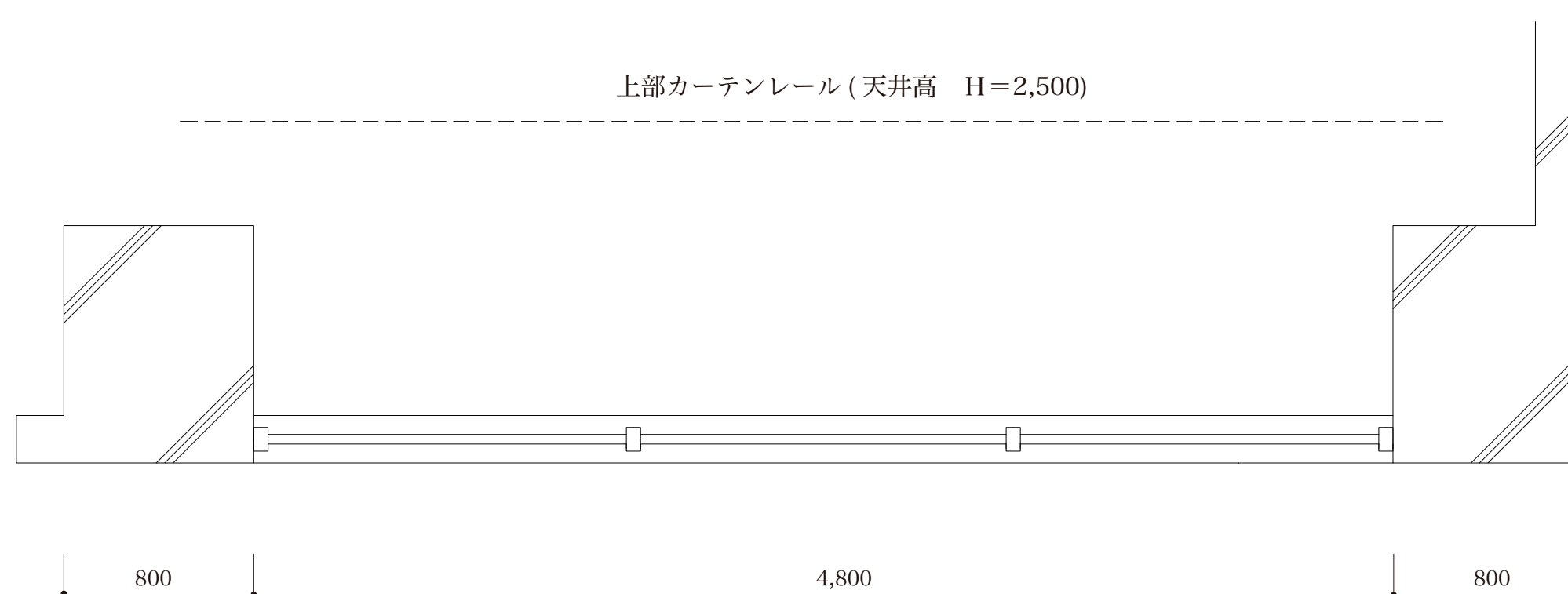
ながおか市民センター(長岡市大手通2丁目2-6)
国際交流センター「地球広場」

ながおか市民センター

開館時間 平日：午前8時30分～午後7時 土曜・日曜・祝日：午前9時～午後6時30分
休館日 年末年始(12月29日～1月3日)

地球広場とは

「出会いから交流、そして協力へ」をコンセプトにした国籍・文化・言葉等の違いに関らず、誰でも身近で気軽に交流できる施設。ボランティアの協力により市民主体の国際交流や国際理解の促進を積極的に進めている。
長岡市国際交流センター「地球広場」は外国人市民の生活を支援し、日頃から異なる文化をもつ者同士が出会う機会を提供することで、様々な文化をもつ人々が互いに理解し合う「多文化共生」のまちづくりを目指している。
多様な国際交流活動の拠点として、外国人市民との交流の場、青少年が国際交流に触れるきっかけづくりの場、国際交流、国際協力に関する情報提供など外国人市民の支援センターとして、外国語による生活相談(英語、中国語、やさしい日本語)各種の情報提供、情報交換の場、日本語学習支援がある。



長岡市民センター1階ショーウィンドウ平面図 1:20

共通テーマ：幸せに生きるために



幸福を意味するモチーフ

四葉のクローバー:「名声」「富」「満ち足りた愛」「健康」を表し、4 枚合わせて『真実の愛』

ハート：愛と平和、永遠の幸福、幸せな結婚、恋愛の象徴。

花：始まりは唐草模様。「幸せ」「愛情」「美」「喜び」の象徴。

リボン：人と人との結びつきや絆を示し、永遠の愛を約束する象徴。

星：古くから悪を封じる光り輝く星は、希望と夢の象徴。

馬蹄：U字型のくぼみが、幸せを受け止め、悪魔を避ける力があると信じられている。

青い鳥：鳥は飛べることから「飛躍」や「自由」の象徴。青い鳥は幸福をもたらすと言う。

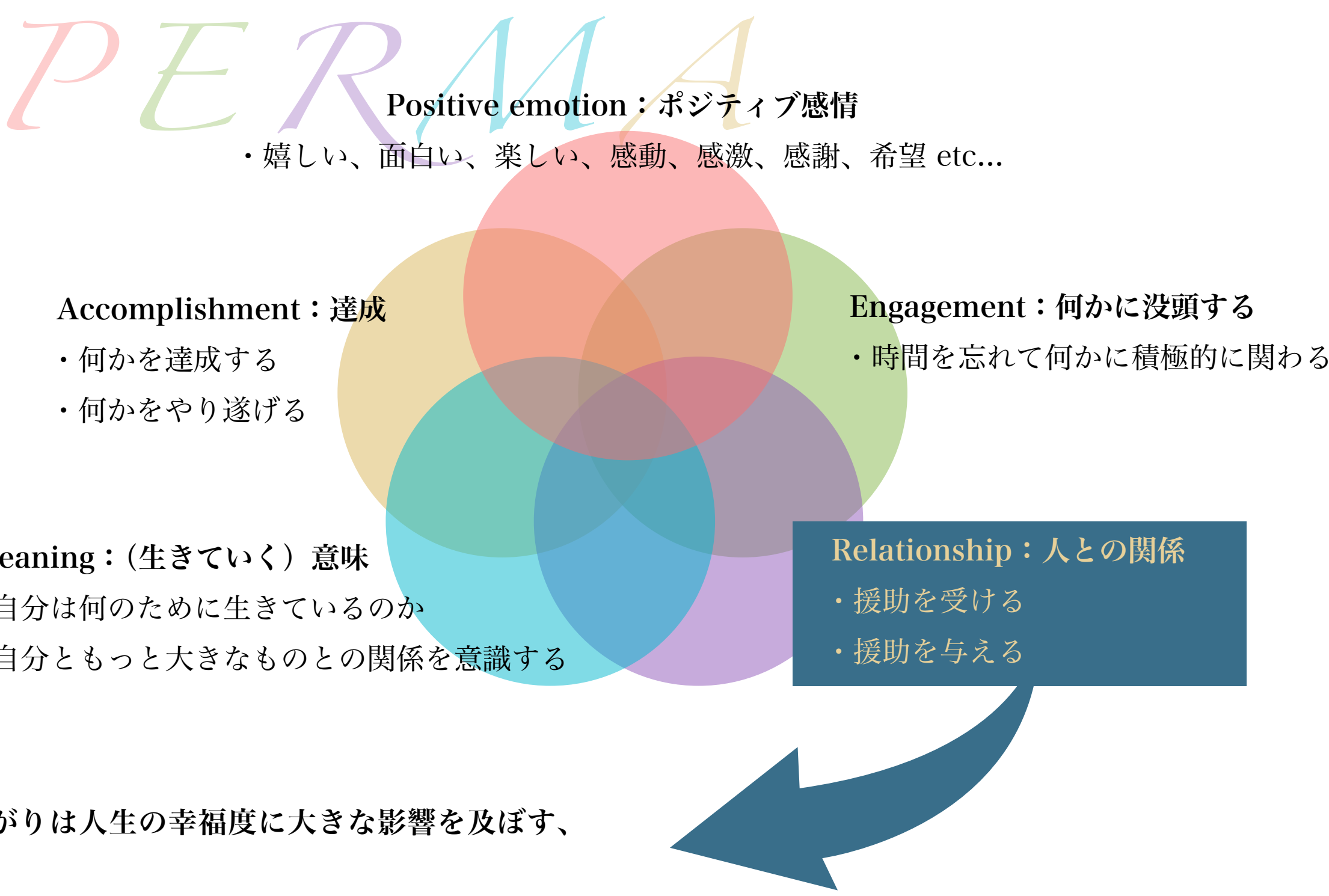
てんとう虫：フランスでは「神の虫」イギリスやドイツでは「聖母マリアの虫」ロシアでは「神の雌牛」神に仕えたとされ、幸運を呼ぶと言われている。
etc...

幸せとは...

幸福について研究をするマイク・ワイキングは、幸せには「短期的な幸せ」と「長期的な幸せ」の 2 種類があると言う。「幸せ」と聞いて多くの人
が思い浮かべるのが、特別な状況で感じる強いポジティブな感情である
「短期的な幸せ」だ。いい服を買う、いい大学に合格する、結婚するなど、
分かりやすいが、数日、数週間も経てばすぐに忘れてしまう一時的な感情
だ。

対して、「長期的な幸せ」は心の奥底から感じる、自分の人生に対する
満足感。夢を実現したい、こんな世界にしたい、あの人のためになりたい
など、夢や目標へ向かっていく時に感じるものが長期的な幸せだ。

また、幸せとは「well-being（ウェルビーイング）」と呼ばれ、持続的
により良い状態になることと、幸せの研究と呼ばれるポジティブ心理学
で言われている。「ウェルビーイング」で言う「持続的により良い状態」
とは何か。具体的にするために、幸せの 5 つの柱と言われている
「PERMA」を紹介する。



心理学者のクリストファー・ピーターソン博士は、他者との関わりや繋がりは人生の幸福度に大きな影響を及ぼす、
幸せにおいて他者は大切であると言う。
そのため今回の卒業制作では、他者との関わりで生まれる幸せに着目し、「小さな親切運動」
という活動を取り入れショーウィンドウを計画する。

小さな親切運動

人には思いやりと親切の心を持って接し、
困っている人には誰もがができる範囲で親切にしようという運動。
お互いが思いやり、支え合うことでより良い社会を築くことを目指す。

スローガン：「できる親切はみんなでしよう、それが社会の習慣となるように」

「小さな親切」運動本部について ...
1963 年 3 月の東京大学の卒業式で、茅誠司総長（当時）は卒業生に向けて次の言葉を送った。
「“ 小さな親切” を、勇気を持ってやっていただきたい。そしてやがては日本の社会の隅々まで埋め尽くすであろう、親切という雪崩の芽としていただきたい。得た様々な知識や教養を社会人としての生活の中に生かしていくには、やろうとすれば誰でもできる” 小さな親切を” 絶えず行っていくことが大切です」と。
小さな親切運動は、茅誠司とこの卒業告辞に感銘を受けた人々が提唱者となり、卒業式から 3 か月後の 6 月 13 日に始まった。同時にこの運動を推進する事務局として「小さな親切」運動本部が発足した。
現在「小さな親切」運動本部は、「小さな親切」を前提とする社会道義の確立に寄与することを目的に、全国 33 道府県本部、137 市町村支部とともに、次世代を担う青少年をはじめ広く国民の間に「小さな親切」の心を育てる様々な活動を行っている。



- ・朝夕のあいさつをかならずしましょう
- ・はっきりした声で返事をしましょう
- ・他人からの親切を心から受け入れ、「ありがとう」と言いましょう
- ・「ありがとう」と言われたら、「どういたしまして」と言いましょう

Summer

コミュニケーションをとろう！

- ・紙くずなどをやたらに捨てないようにしましょう

Autumn

環境に配慮した生活を送ろう！

- ・電車やバスの中で、お年寄りや赤ちゃんを抱いたお母さんには席を譲りましょう
- ・人が困っているのを見たら、手伝ってあげましょう
- ・他人の迷惑になることはやめましょう

Winter

人を想う気持ちを大切にしよう！

「小さな親切運動」が掲げる小さな親切 8 ケ条を分類・解釈し、各季節の小テーマを決めた。



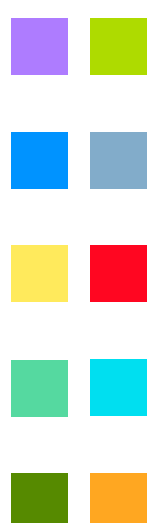
Summer

◦ 6月のイメージ

：展示想定期間 6/1-6/30

- ・梅雨
- ・お祭り
- ・紫陽花
- ・ジュンブライド
- ・父の日（第3日曜日）
- ・写真の日（6/1）
- ・景観の日（6/1）
- ・時の記念日（6/10）

etc...



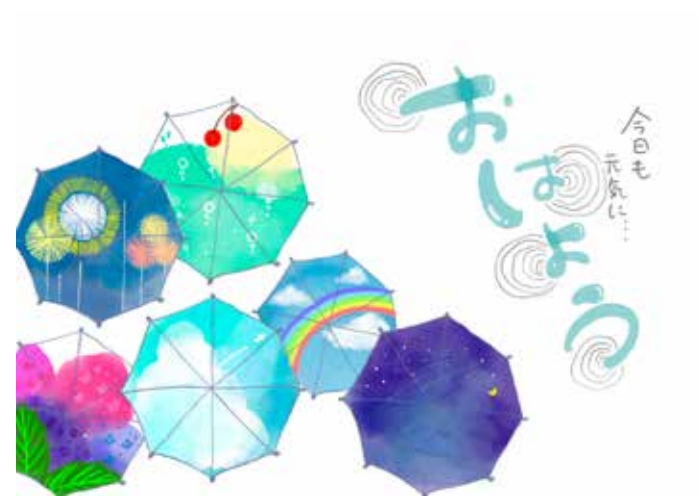
ショーウィンドウに込めた思い ...

「元気な声で挨拶をしよう」「挨拶は大切」と言われるが、なぜ挨拶は大切なのか。

それは挨拶には人の心を開き、その心に近づくという意味があり、人間関係を築くための第一歩だからだ。また、挨拶は尊敬や親愛の気持ちを表す動作、言葉であるため大切な人へ愛を伝える最も価値のある言葉であるとともに、互いの尊敬や親愛の度合いが深いほど信頼も生まれ、より良いコミュニケーションが生まれる。

想いを相手に伝えることは時に難しいこともあるが、たった一言、あなたの「おはよう」や「ありがとう」で生まれる笑顔がある。さあ、今日も元気に愛を伝えよう！

ラフスケッチ（その他の案は別途冊子に記載）



コミュニケーションをとろう！×水辺

水面で仲間と一緒に優雅に泳ぐ金魚たちは、私たちに聞こえない声で今日も会話を繰り返す。

「おはよう」「お疲れ様」「ありがとう」「また明日」何気ない日常の中、仲間とコミュニケーションをとる言葉が飛び交うことで毎日が輝く様子を表す。

また、ショーウィンドウを飾る青とオレンジと緑で、夏のキラキラとした涼しげな水面を表現する。

水草や金魚が作り出す水の波紋はショーウィンドウのガラスに直接貼り、キラキラと輝く水を何層ものフィルムを重ねることで、水中の奥行き感を出す。

案 1.



正面図 S=1:10



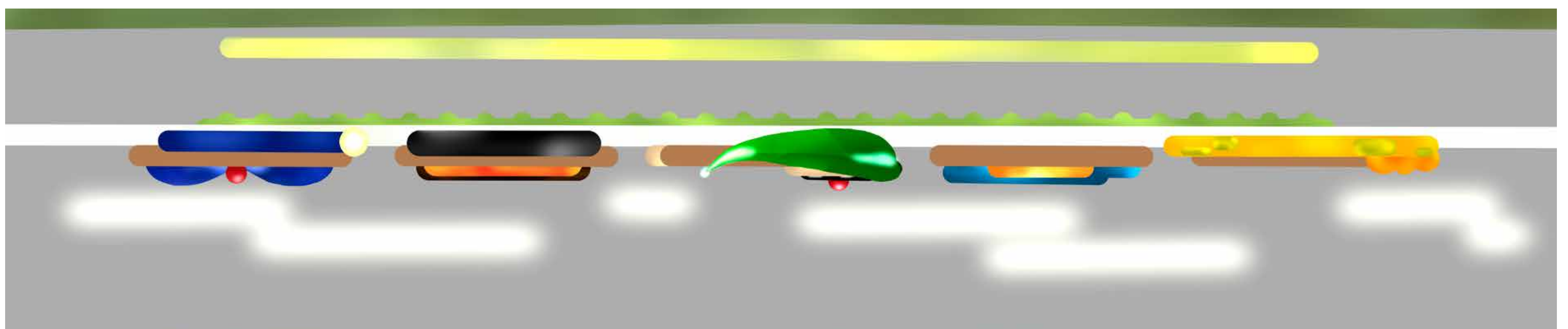
平面図 S=1:10



案 2.



正面図 S=1:10



平面図 S=1:10

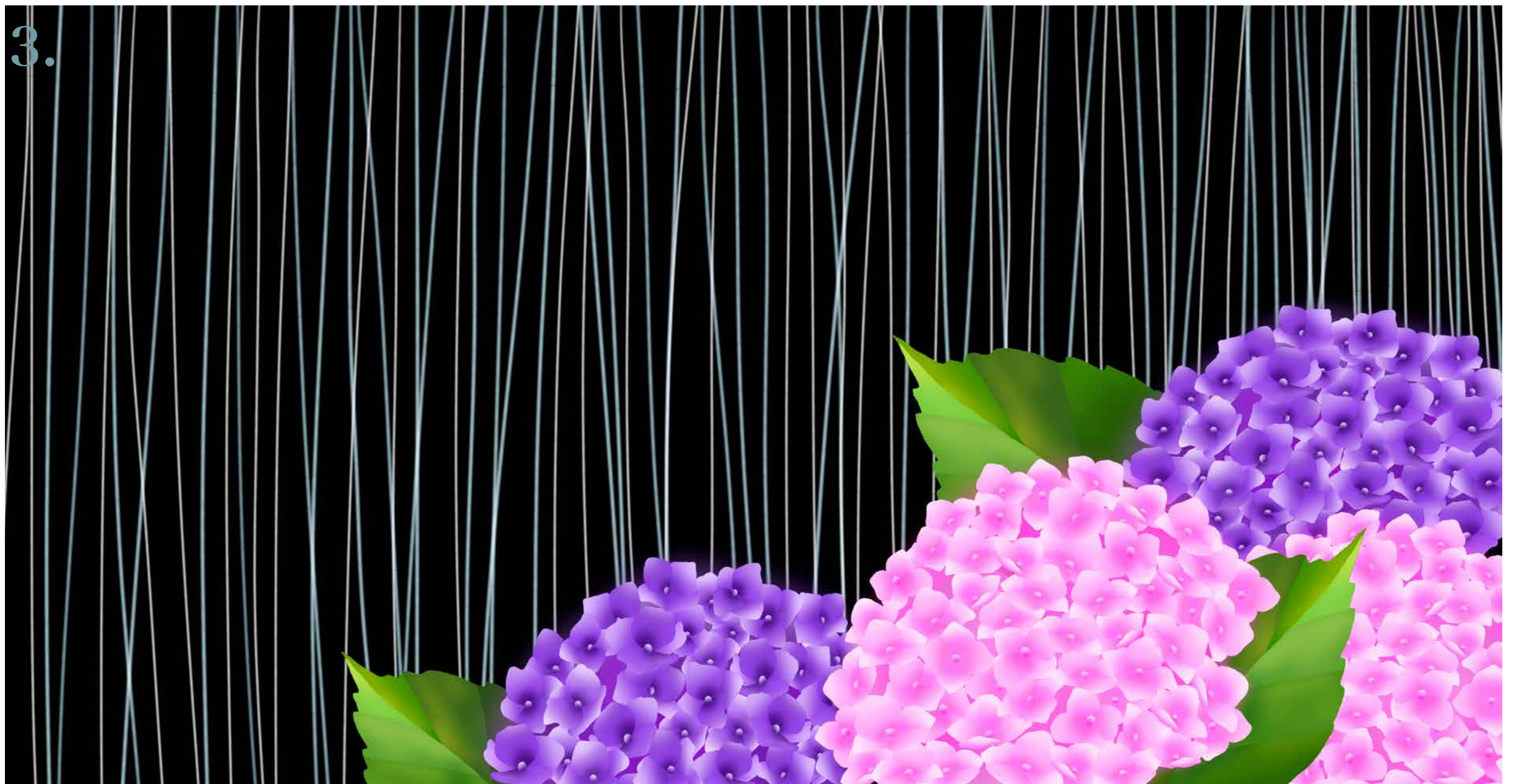
コミュニケーションをとろう！×お祭りのお面

屋台に並ぶお面たちは皆こっちを見て私に話しかけてくる。おちゃらけた顔、真摯なジェントルマン、照れ臭そうに笑うお面たちとのコミュニケーションは今日も 1 日多くの人を笑顔にする。お面は木を素材として作り、それぞれをキャッチーな表情にすることで温かい印象を持たせる。背景の緑は梅雨が明け、木々の緑が濃くなる 6 月をイメージし、雲間から太陽の光が差し込む姿を白を使い表現する。

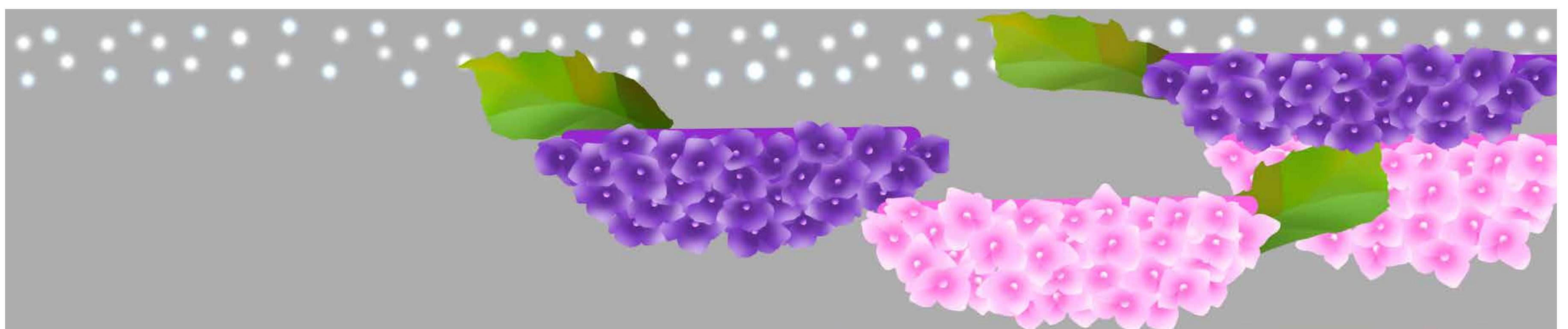
コミュニケーションをとろう！×紫陽花

「おはよう」「ありがとう」など、声をかけるとディスプレイに変化が起き、つい声をかけたいくなるショーウィンドウ。静かに佇む紫陽花に雨が降り、雨があがると「ありがとう」と、返事が返ってくる。自らが行動しコミュニケーションをとることを意識づけ、小さな笑顔の花が咲き誇る毎日を過ごしてほしいと願いを込めた。LED テーブライトやプロジェクターを使用して雨の表現をする。

案 3.



正面図 S=1:10

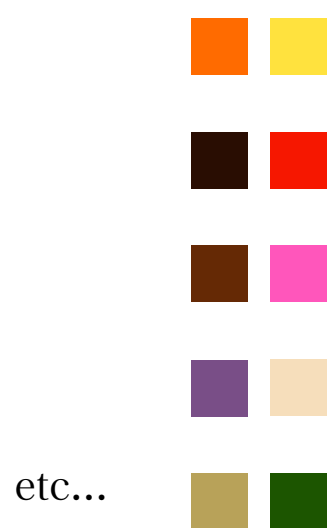


平面図 S=1:10

Autumn

：展示想定期間 10/1~10/31

- ・ハロウィーン
- ・紅葉/ 落ち葉
- ・木の実
- ・金木犀
- ・コスモス
- ・食欲の秋
- ・読書の秋
- ・体育の日（第2月曜日）



◦ 10月のイメージ



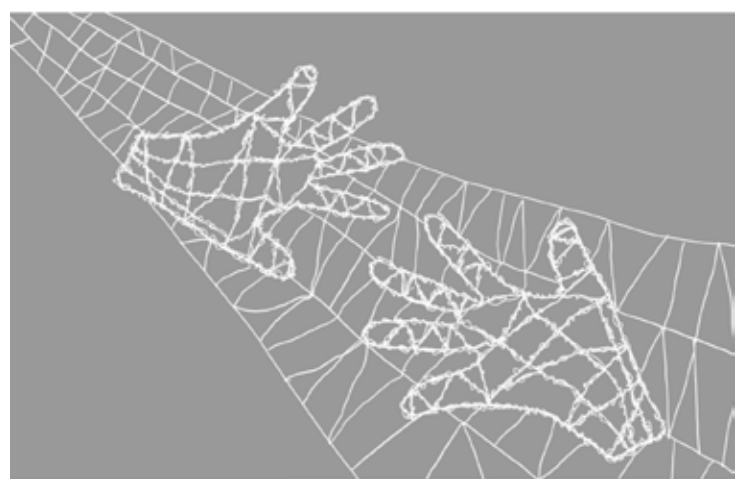
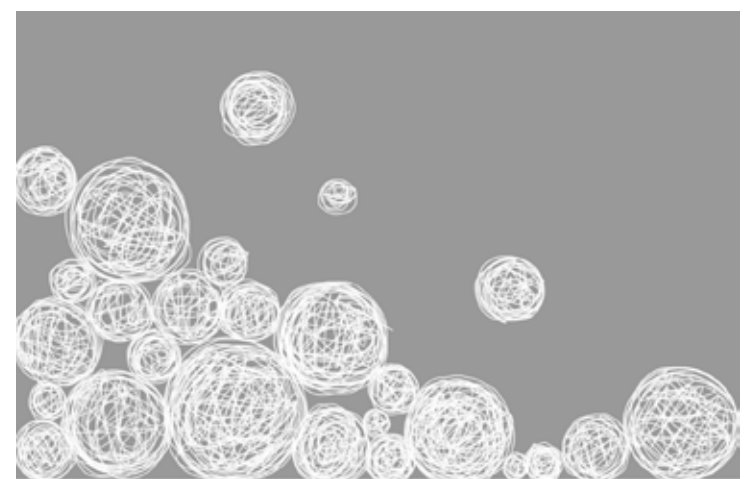
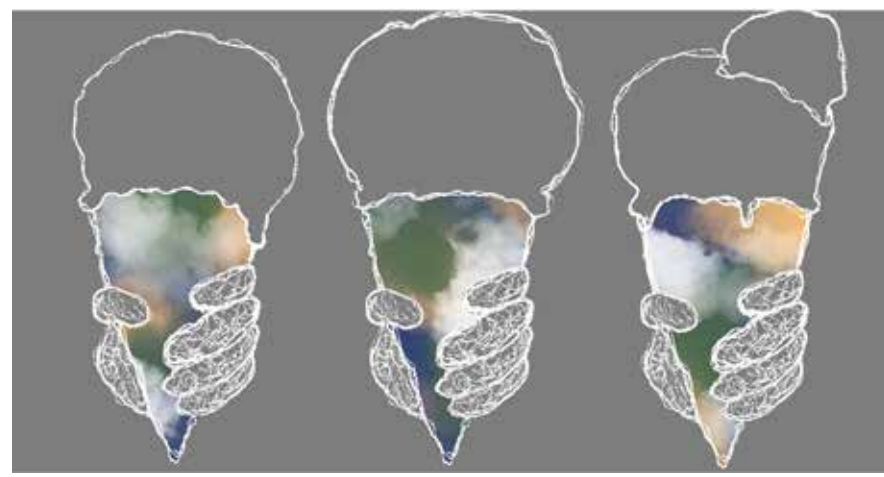
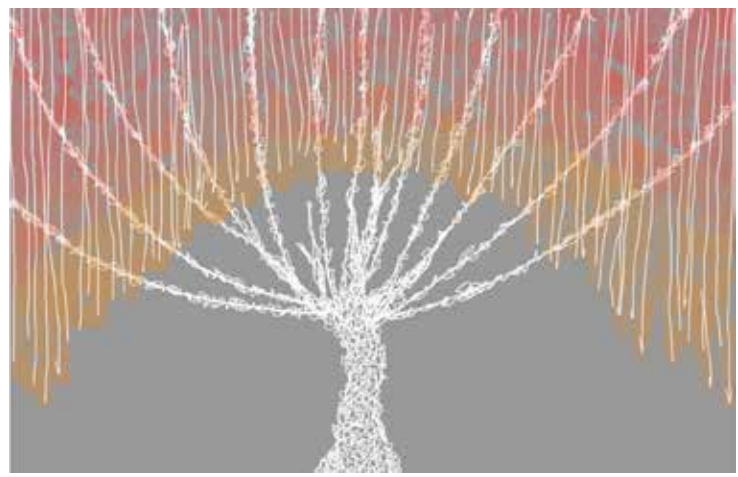
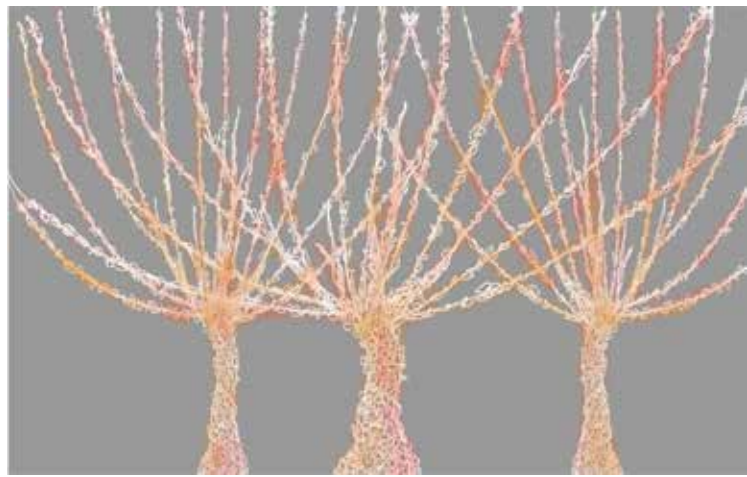
ショーウィンドウに込めた想い ...

私たちは地球に優しい生活を送れているだろうか。動物、魚、木、草花。この地球で暮らしているのは私たち人間だけではない。

以前クジラの胃から 100 キロものプラスチックゴミが発見された。他の生き物たちの暮らしも同様に、私たちの生活による多くの影響を受けている。かつてあった美しい海は、山はどこへ行ってしまったのか。もう戻ることはないのか... いや、そんなことはない。私たちの意識、行動が変われば地球で暮らす全ての命を守ることができる。

暗く悲しい未来ではなく、美しく輝く未来を私たちの手で作っていこう！

ラフスケッチ（その他の案は別途冊子に記載）



環境に配慮した生活を送ろう！ × 落ち葉

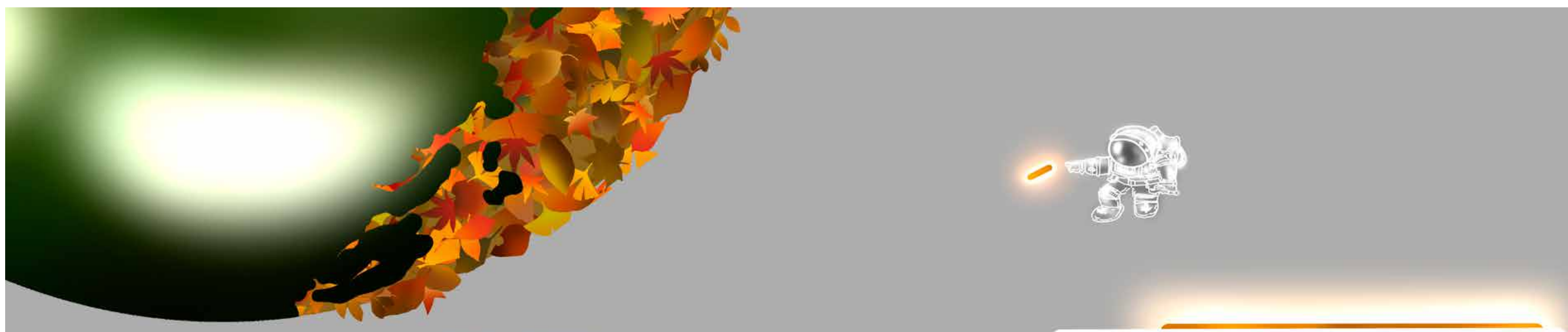
「地球は青かった。」かつてガガーリンが見た地球と、今私たちが暮らす地球は同じ色をしているだろうか。

海岸には流れ着いたゴミが落ち、それを食べて死んでしまう生き物たち。私たちの生活に振り回されながら生きている生き物たち。この状況は本来の地球の姿ではない。青かった地球から、自然や生物と共存できていた時代から、変わってしまった世界を改めて見つめ直す。私たちの暮らしによって濁ってしまった地球の姿を秋を連想させる落ち葉と、ガガーリンの言葉を用いて表現する。また、落ち葉を使用することで、地球を守るためには自然を大切にしていかなければならないと意識させる。

案 1.



正面図 S=1:10



平面図 S=1:10



案 2.



正面図 S=1:10



平面図 S=1:10

環境に配慮した生活を送ろう！×コスモス

コスモスは、小さな親切運動のシンボルフラワーである。花言葉は「まごころ」
コスモスは、一つ一つの花は小さいがたくさん集まると美しく咲き誇る。
同じようにゴミは分別する、エコバックを使う等、私たち一人ひとりの小さな活動もやがて世界を美しくする大きな力になる。徐々に人から人へと広がる私たちのまごころは小さな幸せを生み、幸せを受け止める馬蹄が優しく包み込む。

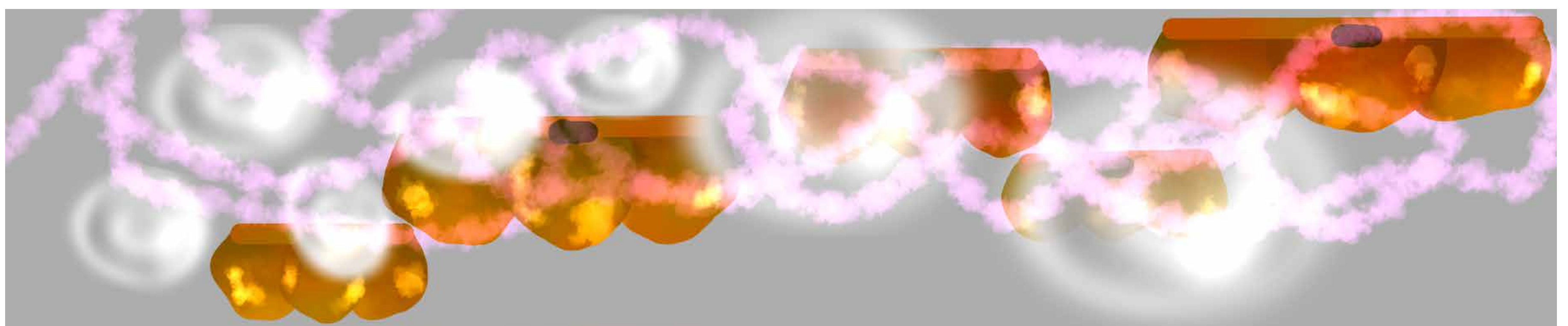
環境に配慮した生活を送ろう！×ハロウィーン

令和2年7月1日より、全国でプラスチック製買い物袋の有料化が始まった。
これは、普段何気なくもらっているレジ袋を有料化することで、それが本当に必要かを考え、私たちのライフスタイルを見直すきっかけとすることを目的としている。
レジ袋をハロウィーンのお化けに見立てることで、プラスチックゴミは自然環境に影響を与える恐怖の対象であることを表現する。

案 3.



正面図 S=1:10

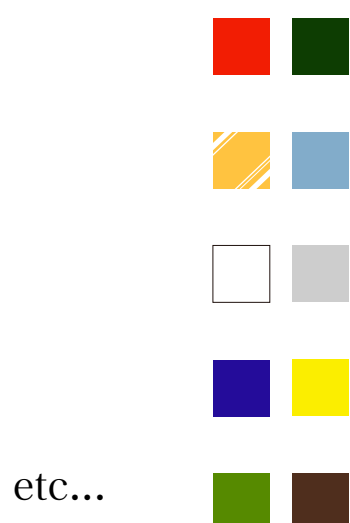


平面図 S=1:10

◦ 12月のイメージ

：展示期間 12/2~12/25

- ・クリスマス
- ・サンタさん
- ・トナカイ
- ・ツリー
- ・プレゼント
- ・リース
- ・雪
- ・イルミネーション



ショーウィンドウに込めた想い ...

困っている人に手を差し伸べることはとても難しい。知らない人が相手だと尚更勇気のいる行動である。声をかけるのが恥ずかしい、断られたらどうしよう ...

という気持ちが邪魔をする。だが、あなたの勇気ある一歩で目の前の人の笑顔や安心を作ることができる。自分一人だけでは世界中を幸せにすることはできないが、目の前の、この人の幸せを作ることができる。相手を想う優しい気持ちは人から人へ伝染する。

やがて世界中の人から集まる小さな優しい気持ちが、大きな愛へと変わり世界中が永遠の幸せで満ち溢れますように。

人を想う気持ちを大切にしよう！×クリスマス

永遠に続く神の愛を象徴するクリスマスのリースは、「永遠の幸福への願い」や「新年の幸福の祈願」を意味するともいう。

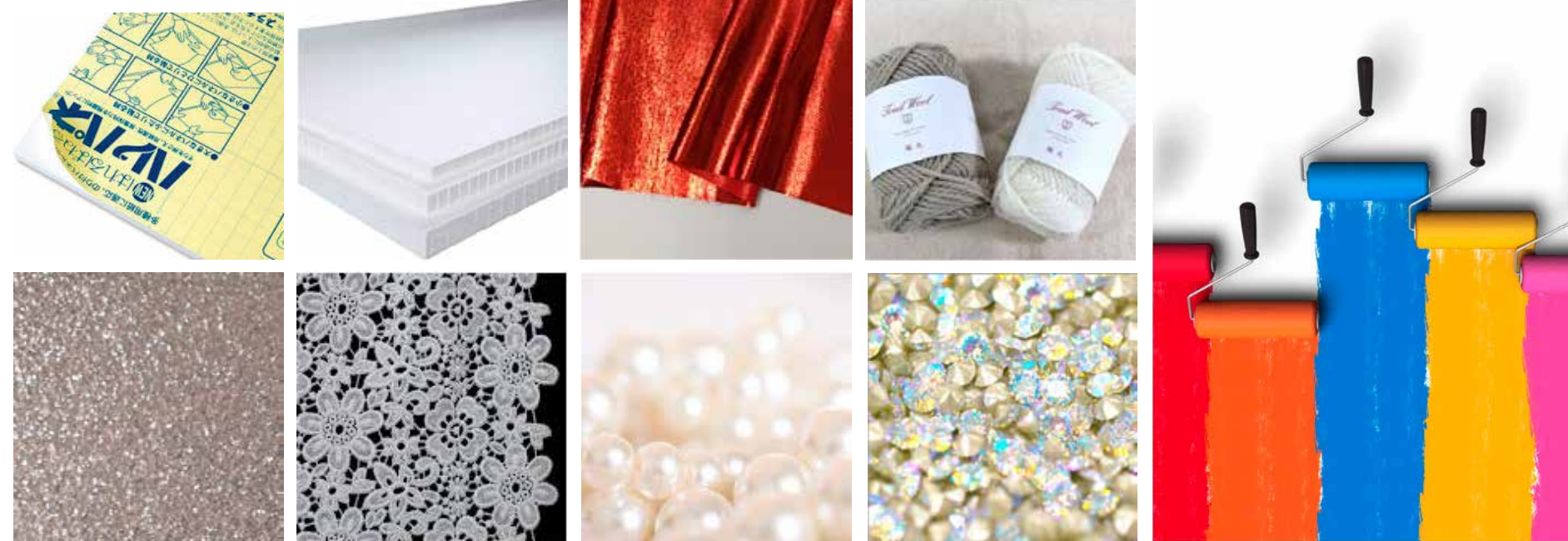
このリースに加えて、「愛と平和」、「永遠の幸福」の象徴であるハートと「人と人との結びつきや絆」を示すリボンを主なモチーフにして制作した。

下から湧き上がる球は、人々の優しい気持ちを表し、世界中が小さな親切で溢れた様子を表現している。また、白を基調にしたディスプレイは、純粋さや無垢な心を表現している。

赤いリボンは人と人を結ぶ強い愛を象徴し、ショーウィンドウ全体がキラキラとしたクリスマスを連想させる。



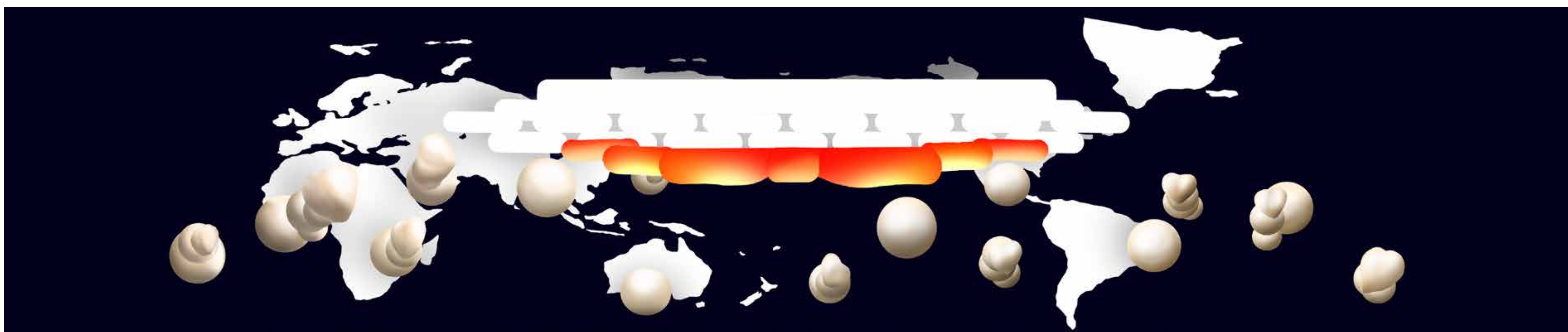
◦ 主な材料



ハート：ハレパネ（装飾：グリッターシート、レース、ビーズ）
リース枠組、世界地図：ハップースチロール、ペンキ
リボン：ラメサテン
浮かぶ球：毛糸



正面図 S=1:10



平面図 S=1:10



長岡市国際交流センター

地球広場

Nagaoka International Affairs Center

Work Scenery

